

令和4年度 宮崎市男女共同参画に関する市民意識調査
＜結果報告書＞

令和4年12月
宮崎市

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 調査の内容	1
4. 調査の期間	1
5. 調査票の回収率	1
6. 留意事項	1
7. 回答者の属性	2
II 調査結果の分析	7
1. 男女共同参画社会に関する意識について	7
1-1 分野別男女共同参画に関する意識	7
1-2 男女共同参画に関する言葉の認知度	11
1-3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方	14
1-4 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」に対する賛成理由	16
1-5 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」に対する反対理由	17
1-6 「男の子らしく、女の子らしく」育てるという考え方	18
1-7 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なこと	19
1-8 「宮崎市男女共同参画センター（パレット）」の認知度・利用状況	21
1-9 自由記述の内容	21
2. 女性の活躍推進について	22
2-1 女性が職業をもつことについて	22
2-2 各分野で女性のリーダーを増やすときに妨げとなるもの	24
2-3 女性の昇進に対するイメージ	25
2-4 自由記述の内容	26
3. ハラスメントについて	27
3-1 職場でハラスメントを受けた経験	27
3-2 職場でハラスメントを受けたときの相談の有無、相談先	29
3-3 職場でのハラスメントを相談しなかった理由	30
3-4 自由記述の内容	30
4. ワーク・ライフ・バランスに関する意識について	31
4-1 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」における「希望」の優先度	31
4-2 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」における「現実」の優先度	33
4-3 自由記述の内容	33

5. 新型コロナウイルスの影響について	34
5-1 新型コロナウイルス感染拡大前と比べた「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の変化	34
5-2 自由記述の内容	37
6. 多様な性を尊重する社会づくりについて	38
6-1 自認している性別	38
6-2 恋愛感情を持つ相手の性別	39
6-3 現在、性的少数者(LGBTQ等)にとって生活しづらい社会だと思うか	40
6-4 性的少数者(LGBTQ等)にとって生活しづらい社会だと思う理由	42
6-5 性的少数者(LGBTQ等)が生活しやすくなるために行政がすべきこと	44
6-6 自由記述の内容	45
7. 配偶者などからの暴力(DV)について	46
7-1 結婚の状況	46
7-2 配偶者などから暴力等を受けた経験	47
7-3 配偶者などから暴力等を受けたときの相談の有無、相談先	49
7-4 配偶者などから暴力等を受けたときに相談しなかった理由	51
7-5 配偶者などから暴力等を受けたときの対応	52
7-6 配偶者などと別れなかった理由	53
7-7 子供のことを考えて別れなかった理由	55
7-8 配偶者などから暴力等を受けたときに命の危険を感じた経験	56
7-9 自由記述の内容	56
8. 交際中の二人の間で起こる暴力(デートDV)について	57
8-1 交際相手がいた経験	57
8-2 交際相手から暴力等を受けた経験	57
8-3 暴力等をふるってきた交際相手の性別	58
8-4 交際相手から暴力等を受けたときの相談の有無、相談先	59
8-5 交際相手から暴力等を受けたときに相談しなかった理由	60
8-6 交際相手から暴力等を受けたときの対応	61
8-7 交際相手と別れなかった理由	61
8-8 交際相手から暴力等を受けたときに命の危険を感じた経験	62
8-9 自由記述の内容	62
Ⅲ 自由回答	63
Ⅳ 調査票	80